



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

93.11.19 No. 3895

11.30~12.1

ストライキ

その2

闘いの目標

- ① 地方交通線の切り捨て計画を撤回しろ!
- ② 大合理化粉碎・運転保安確立! 時短要員を配置し、労働条件を改善しろ!!
- ③ 強制配転者を原職に戻せ! 不当労働行為を直ちにやめろ
- ④ 清算事業団事件の地労委命令を直ちに履行せよ!
- ⑤ 東日本3・5ヵ月、貨物3・7ヵ月の年末手当を獲得するぞ!

地方交通線の切り捨てを撤回せよ

千葉支社は、一二月ダイヤ改において、地域の生活を破壊する初・終電を全面的に切り捨てを強行しようとしている。公共輸送の使命を投げ捨て、もうけ優先の効率化・合理化のみを追及することなど断じて許せない。この列車切り捨ては、強制配転者の「塩漬け」を絶対に解消しないことに最大の問題がある。この不当な攻撃を断じて許すな!

大合理化粉碎、運転保安確立。時短要員を配置し労働条件を改善しろ

千葉支社は時短実施・休日の増にも関わらず、一二月ダイヤ改で士職を中心とした要員削減を強行しようとしている。首都圏では、東京地域本社・五三六名増(士職一六名増)、水戸支社・三三名増(士職一名)、高崎支社・▲二九名(士職二名増)という内容あり、千葉支社は▲二二名、士職の削減は▲一四名となっている。千葉支社は、他に比べても際立った合理化内容となっている。

しかも運輸部は、乗務割交番作成規程違反の勤務を平然と提案し、提案は一切変更しない、現場の声は絶対にきかないととの対応に終始、申し入れに基づいた説明要求に対し、まともに回答することもできず開き直るといふ状況だ。われわれは、他の一切に労務政策を優先させ、まともな業務さえできない千葉支社運輸部を断じて許さず闘い抜こう!

強制配転者を原職に戻せ! 不当労働行為を直ちにやめろ!

前述のとおり、千葉支社では、徹底した要員削減を強行しようとしている。列車切り捨て攻撃も含め、一切の出発点は、強制配転者を「塩漬け」の解消を絶対に行わないことにある。

強制配転者の原職復帰、労務政策を他の一切に優先させる不当労働行為の中止をかちとるために全力で決起しよう!

清算事業団事件の地労委命令を履行せよ!

中労委において、北海道、大阪の「JR採用差別事件」に関し、年内にも命令が出されようとしている。しかし、「誰が見ても妥当と思う命令をだす」(中労委会長)「地労委と同じ命令は無理。早期解決に向け労使が話し合えるきつかけとなる命令が検討されている」(中労委関係者) (千葉日報一四日付の記事)に見るまでもなく、一切の焦点は清算事業団闘争潰しに据えられている。

解雇撤回・清算事業団闘争勝利の闘いは、臨調・行革一〇万人首切り攻撃と対決し、現在も闘い

一月一八日JR東日本
年末手当3割を回収
支払総額 基準内賃金×3・5月分
支払日 一二月一〇日以降
準備出来次第

ぬかれ、長期不況のもと大量首切り攻撃が本格的に開始される情勢のなかで、全労働者の結集軸となる闘いである。中労委命令動向を見据え、ダイヤ改阻止闘争と結合し、地労委命令の完全履行も求め闘い抜こう!

東日本三・五ヵ月、貨物三・七ヵ月の年末手当を獲得するぞ

貨物会社は、経営危機を理由にまたしても年末手当に關し、低額回答を示す動向にある。また、JR総連は、こうした動向にあらかじめ屈服し、東三・四ヵ月、貨物三・二ヵ月要求という格差要求を行ない、「貨物は、物流関係の一員旅客会社とは違う」と組合員を恫喝しているのだ。われわれは、貨物の超低額回答を許さず、来春闘いの闘いをも見据え、組合要求満額をかちとるためにストライキに決起するぞ!

戦争への道

小選挙区制強行採決弾劾!